

ZEH 普及目標

政府は「エネルギー基本計画」において、「住宅の一次消費エネルギー消費量が正味（ネット）で、ゼロとなる住宅（以下、ZEH）を、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均での実現を目指す」という政策を掲げました。

「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」とは、住宅の高断熱化及び高効率設備により、できる限り省エネルギーに努めた上で、太陽光発電などの再生可能エネルギーにより、年間の一次エネルギー消費量が『正味ゼロまたはマイナスの住宅』のことをいいます。

松崎建設は、これまでの高断熱・高気密住宅建築で培った経験を活かし、2020年までのZEH普及率目標を下記の通り定め、その普及に努めるとともに、不要なエネルギーを使わないライフスタイルの啓発を進めることで、地球環境の保全と、お客様の快適で豊かな暮らしの実現に貢献します。

年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
普及目標			40%	50%	60%
実績 (%)			0%		

※NearlyZEH含む